



学内
限定

ロハスの家群跡地再生プロジェクト第1回報告会

水害からの復興と

ロハス工学の新たな挑戦



ロハスの家群跡地再生プロジェクト

日時

2021年 **11.6** [土]
13:00-16:00

場所

ウェビナー (WEBセミナー) 形式
日本大学工学部
50周年記念館 (ハットNE) 3階大講堂

プログラム

※本シンポジウムは
FD・SD研修会の一環として行う。

13:00-13:05 **開会挨拶** 日本大学工学部長 根本 修克

13:05-13:20 **全体概要説明**
工学研究所長兼ロハス工学センター長 岩城 一郎

13:20-14:00 **ランドデザイン**
建築学科 教授 浦部 智義
土木工学科 教授 中野 和典
機械工学科 専任講師 宮岡 大

14:00-14:35 **プロジェクトのコンテンツ**
生命応用化学科教授 春木 満
機械工学専攻2年 阿部 眞也
建築学専攻1年 園田 駿希

14:35-14:45 休 憩

14:45-15:55 **ディスカッション**
コーディネータ: 電気電子工学科 准教授 村山 嘉延
パネリスト: 土木工学科教授 中野 和典, 機械工学科
専任講師 宮岡 大, 医療法人仁寿会菊池医院理事
長兼院長 (日本大学工学部客員教授) 菊池信太郎,
株式会社はりゅうウッドスタジオ 代表取締役 滑田
崇志, 株式会社蔭山工務店 代表取締役 蔭山 寿一

15:55-16:00 **閉会挨拶** 事務長 佐藤 裕之

LOHAS
Lifestyles of Health and Sustainability
ENGINEERING

※LOHASとは“Lifestyles Of Health And Sustainability”の頭文字LOHASのことで「健康で持続可能な様々な生活スタイル」の意味です。

日本大学工学部では、2007年より「ロハスの家研究プロジェクト」を始動させ、2009年から毎年ロハスの家1号、2号、3号を構築するとともに、「浅部地中熱採集蓄熱システム」や「ロハスの花壇」、「ロハスの橋」、「ロハスのトイレ」を設置し、工学部の掲げる「ロハス工学」の研究を推進し、さらにその成果を公表して活用してきました。しかし、2019年10月の東日本台風により、このエリアは最大約2m浸水し、研究継続の断念を余儀なくされました。

この状況の中、教職員で議論を重ねた結果、水害からの復興とロハス工学の新たな挑戦の取り組みとして、ロハスの家以上に魅力的な施設を作ろうとの結論に至り、2020年「ロハスの家群跡地再生プロジェクト」を立ち上げることとなりました。その目的は、この跡地を学生・教職員・地域住民にロハス (健康と持続可能な生活スタイル) を体感してもらう研究施設として再生させることであり、短期 (1年)・中期 (3年)・長期 (10年)・超長期 (20年) にわたり、キャンパス計画を進めるための拠点とすることにあります。

今年で10回目を迎える本シンポジウムでは、これまでに検討してきたプロジェクトのランドデザインについて、教職員や学生の代表から報告を行い、このエリアをロハス工学の発信源とし、さらにここに集う利用者の憩いの場として活性化させるための方策に関し、議論する場を設けました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面とウェビナー (Webセミナー) によるハイブリッド方式での開催といたします。

日本大学工学部

【主催】日本大学工学部工学研究所

【URL】<http://www.ce.nihon-u.ac.jp/> 【E-mail】ceb.kenkyu@nihon-u.ac.jp